

## ● 共同組織拡大強化月間 取り組み計画一覧

共同組織	友の会の取り組み計画	事業所の取り組み計画
京都中・右京健康友の会	10/4に臨時総会を開催し、年会費制(1200円)から入金金制(500円)に変更予定。これを機会に800人の会員拡大を目指す(職員は1000人の拡大目標)。「元気」誌56部拡大を目指す。医療懇談会・保健教室・健康まつり・相談活動に取り組む。	①全部署で友の会についての学習会開催 ②卒3研修を含め全部署で医療懇談会の開催 ③全職員の友の会入会、「元気」誌購読を目指す ④全部署で会員拡大(一職員1.5人目標)と「元気」誌普及目標をもつ
春日健康友の会	友の会役員会前後の統一行動計画	友の会役員会と共同した行動 認知症養成講座、情勢学習を計画する
朱雀健康友の会	9月～11月の間、生活相談、医療懇談会、学習会、朱雀カフェに取組む。	平日木曜に職員行動日の設定と、毎月第3土曜日午後に行動企画を計画。医療懇談会を2回開催予定。
西京健康友の会	地域訪問、こぐまちゃんクラブ参加者を中心に対象を抽出し、子供まつりの案内や友の会の取組案内と入会の呼び掛けに訪問する。	地域訪問、医療懇談やこぐまちゃんクラブ参加者を中心に対象者を抽出し、10月からの水痘瘡の公費接種やインフルエンザの接種案内を兼ねて入会の呼び掛けに訪問する。
上京健康友の会	獲得目標 会員を増やして医療・福祉、暮らしを守ろう 友の会の存在を上げよう 理念を上げよう / 友の会目標:会員40人、元気誌5部	①新患 ②未入会者のリスト ③未購読者のリスト ④無低患者 ⑤サークル目標(1人で2人増) *統一行動地域(翔鷹学区未入会者リスト作成)
仁和健康友の会	9/28に友の会旅行を予定。会員外への入会の働きかけを行う。10月、11月青空健康相談会を計画(日程は職員間で調整)。	機関紙配布と一緒に、会員さんへのこんにちは訪問を予定。
吉祥院健康友の会	友の会役員・協力員・ボランティアからの働きかけ。目標と考え方の議論を役員会で意思統一を行う。役職員の統一行動計画。いつでも元気の未購読役員、ボランティアへ働きかけ。	外来やインフルエンザでの働きかけ、こども診のインフルエンザ作戦など、部署や事業所で具体的な作戦を明確にする。友の会役員と一緒に地域行動(健診や署名で対話)し、入会者を募る。年内会費の入会制度。健診キャンペーン、アンケート実施。
九条健康友の会	保健学校の開催(9、10月)。月間中に便りの発送を行い、会費納入の呼びかけを行う。月2回の班会を計画。	部署ごとで目標を確認し進める。班会時に職員も同行。毎朝礼と週1回の昼礼時に月間の拡大結果を確認する。患者さんで友の会非会員さんのリストを出し、来院時に声掛けを行う(カルテに入会案内を差し込む)
久世健康友の会	9月16日から、慢性疾患の方へお誘いを各ブロックに分けて地図落としした。計画は、職員と地域回りし、会員協力を得て訪問する。外来でパンフを使い積極的に声掛けする。昼礼や会議の中で到達を確認する。	管理委員会では「数」より共同組織としての活動を強化する事を意思統一。
綾部健康友の会	出店(可能な限り毎日)を行う。診療時間内は友の会事務所を開ける。地域行動	出店配置、懇談会企画(職場別)を職場講師で進める。DM発送で地域訪問と患者様への声掛け。
舞鶴健康友の会	8月度の世話人会で会員拡大目標、元気拡大数、懇談会開催の推進を確認した。9/18に世話人組織委員会を開催し、具体的な取組計画を検討する。地域行動は10、11月各2回予定。懇談会は9、10月各2カ所、11月1カ所予定。9/28平和健康まつりでも訴える。	8月管理委員会、職員会議で目標確認。9/18の世話人組織委員会を受け、対象者に入会案内を発送予定。拡大は外来患者、役員と一緒に地域訪問を計画する。医療懇談会は現在5カ所予定されているが、役員と相談し他の地域でも取り組みを進める。
丹後健康友の会	統一行動(地域訪問・夜診出店)の実施	友の会の行動に参加
福知山健康友の会	年間計画100人にむけ、秋の取組を生かして会員拡大を進める。	患者名簿で非会員さんをピックアップ。窓口で入会お誘い文書を渡す。

あります。大きく会員が増えた時期は、90年代の府北部での診療所開設時期と2010年からの市内病院構造転換事業の時期でした。一方、診療所閉院に伴う友の会解散や縮小もありました。友の会組織の基本となる班や支部の減少、会員・職員参加の停滞もあります。しかし、送迎などのボランティア活動や訪問・見守り活動、お食事会などの居場所づくりは少しずつ広がっています。

これからの地域に対応できる友の会への発展と「無差別・平等の地域包括ケア」(安心して住み続けられるまちづくり)実現を融合させ、「住民の要求を聞くには」「暮らしやすい地域に変えていくには」など、どのような組織・規模が必要なのか、友の会活動の在り方や運営等も点検し、量と質の飛躍が不可欠です。共同組織・友の会が地域にしっかりと根をはり、太い幹に成長し、沢山の枝葉で巨大な樹形、地域のシンボルとして発展することが求められます。

## 想いと力を集中する月間に

10、11月の2ヵ月間「共同組織拡大強化月間」に取り組めます。8月理事会は、月間方針と目標を提起し、各友の会・事業所の具体化で「会員2500、いつでも元気150部」の目標をつくる事が出来ました。計画と目標にこだわり「仲間づくり」に大奮闘しましょう。

月間を進める上で重要なことは、全構成員に依拠すること、そして「目標を必ず達成する」構えと対策が必要です。事業所は月間を正面にすえ、中心課題として取り組んでください。2つ目は、班会や懇談会、相談会を開催し、地域で「友の会の存在」を上げましょう。全職員は講師活動に努め、「地域丸ごと健康づくり」に結び付けましょう。また、全職員加入と班会参加で地域実態も学びましょう。3つ目は、「組織づくりと質の転換」を目指し、班や支部結成に取り組み、会員や職員がたくさん参加できる・する企画を無数に計画しましょう。

- ・会員拡大目標等を部署毎等に分担し、期日と数を明確にして取り組みましょう。
- ・いつでも元気の拡大者には、トートバッグまたはタオルの贈呈があります。ぜひ挑戦しましょう。
- ・班会等は全事業所・友の会で取組み、病院50回以上、診療所10回以上開催しましょう。
- ・班や支部の結成は1組織1つ以上。基金新規申込数は病院100、診療所30を目安とします。
- ・月間集会を開催しましょう。